

第36回全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 道南ブロック大会 開催要項

1	主旨	日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。またフットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ることを目的とする。併せてJFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル大会北海道代表決定戦へ出場する道南ブロック代表決定戦を実施する。
2	名称	第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦 道南ブロック大会
3	主催	公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4	主管	苫小牧地区サッカー協会 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
5	後援	北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、苫小牧市
6	期日	2026年3月8日（日）
7	会場	苫小牧市総合体育館 苫小牧市末広町3丁目2番16号 TEL：0144-34-7715
8	参加資格	<p>(1) フットサルチームの場合 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「JFA」という）に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。一つの加盟登録チームから、複数のチームできる。</p> <p>(2) サッカーチームの場合 JFAに「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。</p> <p>(3) 前項の(1)と(2)のチームに該当する選手のうち、U-6カテゴリーに属する選手および6年生の参加は認めないものとする。</p> <p>(4) 本大会への出場可能選手はU-11以下の選手であること。ただし、小学校に在籍する5年生以下の選手であれば、この年齢制限を適用しない。</p> <p>(5) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする（準加盟チームを除く）</p> <p>(6) 本大会の予選(地区・ブロック)を通じて、選手は他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。</p> <p>(7) 前項の(1)～(6)の選手は、男女の性別は問わない。</p> <p>(8) 選手及び役員は、本大会において複数のチームで参加できない。</p> <p>(9) 道南ブロック3地区の予選大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。 ① フットサルチームの場合 登録料 2000円 ② サッカーチームの場合 登録料 4000円</p> <p>(10) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFFのフットサル登録料の振込完了を以って加盟したチームとする。)</p> <p>参加チームは9チームとする。 各地区の出場枠は次の通りとする 室蘭地区・苫小牧地区・函館地区 それぞれ3チーム</p>
9	参加チーム及びその数	
10	大会形式	<p>(1) 出場9チームを3チームごとの3グループに分けリーグ戦を行う。 なお、同地区出場チーム同士は、同グループでは対戦しない。</p> <p>(2) 順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順を決定する。 ① 当該チーム内の対戦成績 ② 当該チーム内の得失点差 ③ 当該チーム内の総得点 ④ グループ内の得失点差</p>

- ⑤ グループ内の総得点数
⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
(ア) 警告1回ポイント
(イ) 警告2回による退場3ポイント
(ウ) 退場1回3ポイント
(エ) 警告1回に続く退場1回4ポイント
⑦ 前項①～④の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
本大会実施年度の「フットサル競技規則」による。
- (1) ピッチ
・ 大きさ：サイズは原則として32m×16m
・ センターサークル：半径2.5m
・ ペナルティーエリア四分円の半径：5m
・ ペナルティーマーク：5m
・ 第2ペナルティーマーク：8m
・ 交代ゾーンの長さ：4m
・ タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
・ フリーキック：4m
・ コーナーキック：4m
・ キックイン：4m
- (3) 競技者の数
・ 競技者の数：5名
・ 交代要員の数：5名以内
・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (4) チーム役員の数
3名以内
- (5) ユニフォーム
① JFAのユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判断しうるものであること。
④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
⑤ ゴールキーパーが怪我や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。
⑥ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
⑦ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。ユニフォーム生地に布等を縫い付けて番号等を掲示（以下、「貼り番」という。）することは原則認めないが、下記⑧および⑨の場合に限り認める。
- ⑧ 貼り番する場合に、事前に登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用し、四辺が縫い合わされていること。掲示される番号についても事前に登録されたユニフォームに取り付けられた番号色と同色にて掲示するもとする。なお、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色（縦縞・横縞等）である場合は大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。

⑨ 上記⑧について、緊急性を要する事情、または突発的な事情により急遽、対応しなければならない事情（貼り番を白布地・黒番号等とする使用）が生じた時は、会場運営責任者の承諾を得た場合のみ上記⑧の適用を除外とすることができます。その際はマッチコーディネーションミーティング（以下、「MCM」という。）時に確認する。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に届出すること。

⑩ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担することとする。

⑪ 正・副の2色については明確に異なる色とする。

⑫ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑬ 前項の場合、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑭ Jクラブ傘下のチームについては、公益財団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号（キ）に準じる。

⑮ その他のユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規定に則る。

(6) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、着地面が飴色、白色、もしくは無色透明にフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない）ただし、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。なお、チーム役員にも適用する。

(7) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し着用しなければならない。

(8) 試合時間

16分間（各8分間からなる2つのピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

13 マッチコミッショナー等

マッチコミッショナーは配置しない。

マッチウェルフェアオフィサーをすべての試合に配置する。

14 懲 罰

(1) 本大会は（公財）日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(2) 本大会の予選は、懲罰規定上の同一競技会とみなし、地区予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場出来ない。

(4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場出来ない。

(5) 本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。

(6) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式戦にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

（ただし、JFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦出場チームはこの大会で行うこと）

(7) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5又はその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(8) 本大会の大会規律委員会は、出場停止処分2試合までの懲罰問題を処理す

(9) 大会規律委員会の委員長は、開催地サッカー協会（苫小牧地区）理事長とし
本大会の競技委員長とする。規律・競技委員は3地区4種委員長3名で構成す
ること

(10) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会が決定
する。

15 参加料等 参加料15,000円（消費税込）とする

申込後の出場辞退（理由にかかわらず）についての参加料の返金は行わない。

16 参加申込 (1) 1チームあたり24名（選手20名、役員4名）を上限とし、選手は本大会の予選となる地区大会に登録していること。ただし、3名を上限に本大会の予選となる地区大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第8条に定める参加資格を満たしていなければならない。

(2) 参加申込は、所定の書式（下記（7）申込先（A）に記載のa～e）を下記（5）の期日までに申込先（A）の所属地区サッカー協会宛にE-mailで送付すること（所属地区サッカー協会を通じて、申込先（B）、（C）に送付される）

※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。

(3) 参加料等は、申込みと同時に申込先（C）へ納入すること。

(4) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記（5）の期日までに申込先（B）に送付すること。2026年度事業のため全チーム提出のこと。

(5) 申込締切日：2026年2月25日（水）15時厳守

(6) 上記（5）申込締切日以降の参加申込書の内容変更について、以下の通りとする。

①選手及び役員の変更は、2026年3月3日（火）15時まで認める。ただし、3名を上限に本大会の予選となる地区大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第9条に定める参加資格を満たしていなければならない。

(7) 申込先（A）所属地区サッカー協会事務局

a 参加申込書（E-mail）

※選手及びチームの登録番号を必ず記載のこと。

b ユニフォームカラー報告用紙（E-mail）

※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。（デザイン画不可）

c プライバシーポリシー同意書（E-mail）

d 懲罰処分についてのアンケート（E-mail）

e ユニフォーム広告掲示回答書写し

申込先（B）（公財）北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL：011-825-1100 FAX：011-825-1101

・親権者同意書（郵送）※チーム対応

・a 参加申込書（E-mail）※申込先（A）が対応。

・地区予選結果（E-mail）※申込先（A）が対応。

申込先（C）苫小牧地区サッカー協会

〒053-0022 苫小牧市表町3-1-12 第2CKビル4F

TEL 0144-82-9561

FAX 0144-82-9562

苫小牧地区サッカー協会 事務局 古曾部 統太郎 気付

E-mail tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp

17 大会参加料 15,000円（消費税込）

銀 行 名 苫小牧信用金庫 市役所出張所

口 座 名 苫小牧地区サッカー協会 会長 戸村 真規

口 座 番 号 （普通）1002886

※必ずチーム名・監督名を記載すること。

18	組合せ	組み合わせは、苫小牧地区サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は（公財）北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。 https://www.hfa-dream.or.jp/ （大会情報・フットサル）
19	帯同審判	(1) 各チームでフットサル3級資格以上を保有する審判員を1名、フットサル4級資格以上を保有する審判員を1名、計2名を帯同させること。 帯同審判員はチーム役員を兼ねることができるが、担当する審判業務を優先すること。
20	監督会議	(1) 日時：2026年3月8日（日）9時00分から (2) 会場：苫小牧市総合体育館 大会本部前
21	開会式	開会式は開催しない。
22	負傷および事故の責任	(1) 大会期間中の負傷および事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師および救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。 (2) 参加チームはスポーツ保険または、それに準じた保険に加入すること。
23	その他	(1) マッチコーディネーションミーティング（以下、MCMという。） キックオフ時刻の60分前に、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。 ① 選手証のチェックを行う（監督会議の際、各チーム持参すること）。 ② FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム（パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む）、競技中に着用するビブス（メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数枚のビブスの用意があるのが望ましい）を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。 ③ タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。 ※チーム代表者は必ずMCMに出席しなければならない。
	(2) 選手証	各チームの登録選手は原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。 ※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものと示す。
	(3)	チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともにベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区協会を通じて電子メールより（公財）北海道サッカー協会に理由及び代理出席者（参加申込書記載の役員から）氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。会場運営責任者は、その内容について事後に大会運営委員長へ報告するものとする。なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
	(4)	選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
	(5)	マッチウェルフェアオフィサー（MWO）を原則全試合設置する。
	(6)	震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
	(7)	競技時間中、ウォーミングアップ時間を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
	(8)	本大会にあたっては、以下通知の通りとする。 『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』 https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/

- (9) 各ブロック優勝チームは、2026年度に開催されるJFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦の参加を義務づける。
- (10) 本開催要項に記載のない事項については、主管地区協会4種委員会で決定す
以上